



# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第74号 平成21年6月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 山県北野地域 石田川での野外活動実習（5月23日）

- ・未来の先生たちと石田川へ
- ・野外活動のポイントは・・・

## ○未来の先生たちと石田川へ

5月23日（土）に、山県北野地域を流れている石田川で、将来教員を目指す岐阜大学教育学部の学生さんたちが、生物調査と水質調査の実習を行いました。

近年、小中学校の総合的な学習において、**地域の資源を活かすことに重点をおいた、野外活動が増えています**。しかし、その一方で、自然体験学習を指導できる人材は圧倒的に不足しており、その育成が急務となっています。

参加した学生の半数は、これまで川で魚とりをした経験が無いとのことで、若者の野外活動経験の乏しさと人材育成のハードルの高さを実感させられました。

最初は学校でよく用いられているパックテストによる簡易水質検査の実習です。



石田川で河川調査実習を行いました



パックテストで水質調査中



タモ網を使った魚の捕獲に挑戦



今回の実習では、pH と COD の 2 種類の調査を行い、石田川の水質を調べました。

その後、タモ網による魚の捕獲指導を受けた後、生物調査に挑戦しました。水際の草に隠れている魚を足で追い立てて

捕獲するコツを掴むにはかなりの時間がかかったようです。この体験を通して参加した学生たちは、実際に児童・生徒にこのような活動を指導するにはどのようなことがポイントとなるのかを感じることができたのではないのでしょうか。



岐阜少年自然の家の鷺見所長さんから捕獲した魚類の説明を受けました。

### ○野外活動のポイントは・・・

野外での活動は、体験を通して様々なことを学べると共に、有意義な活動にするためには安全管理が必要不可欠となります。そこで、参加者の皆さんには、川での活動体験を踏まえ、安全管理のポイントについて実感したことを発表してもらいました。

**「川底の見えないポイントでは深さを確認する必要がある」「流れが緩やかに見えても危険な場所がある」**

**「川底には何が落ちているか分からない」**等、様々な意見がだされました。

その他にも状況に応じ、様々な安全管理のポイントがあると思いますが、経験を踏まえて、安全に野外活動を指導ができる教員になってほしいですね。



学生が感じた野外活動でのポイントを発表し合いました。

### ○おわりに

かつては当たり前前の子どもの遊びとして体験してきた川遊びや魚とりが、今の若者の多くにとっては未知の体験であることをあらためて実感しました。

自然を守ることでできる人となるには、まず自然を体験的に知ることが必要です。机上の学問も大事ですが、自然を学ぶのであれば、このような体験を楽しむことが一番の勉強ではないのでしょうか。



### 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ： <http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>